

## 令和7年度士別市総合教育会議（第2回） 会議録

- 1 日時 令和8年2月6日（金） 午後4時00分～4時50分
- 2 場所 士別市役所2階 庁議・来賓室
- 3 出席者 **【構成員】** 渡辺市長、泉山教育長、馬場教育長職務代理者、加藤教育委員、  
山田教育委員、多田教育委員  
**【事務局】** 教育委員会 丸生涯学習部長、  
岡田学校教育課長、千葉社会教育課長、  
徳竹合宿の里・スポーツ推進課長  
総務部 大橋総務部長
- 4 報道 3名（北海道新聞、道北日報社、北都新聞社）
- 5 次第
  - 1 開会
  - 2 あいさつ
  - 3 協議事項
    - (1) 朝日地区義務教育学校の校名について
    - (2) 令和8年度の教育関係施策と予算
    - (3) 公共施設の最適化について
  - 4 その他
  - 5 閉会

---

### 1 開会

○丸部長

はじめに、渡辺市長からご挨拶をいただく。

### 2 あいさつ

○渡辺市長

教育委員会会議に引き続き、総合教育会議にご参集いただき感謝申し上げます。

令和7年度を振り返ると、特に子どもたちの活躍が目覚ましかった1年だった。先般の1月30日の翔雲高校の21世紀枠については非常に残念だった。12月に北海道選考されてから市内でも野球部の後援会を含めて活発化され、市民の皆さんが非常に喜んでくれているのを見た

きに、やはり子どもたちの活躍や頑張りが、市の活性化にも大きく寄与すると改めて感じた。

ウェイトリフティングでは、高校生の石川さん、中さんがインターハイの優勝、国民スポーツ大会の優勝があった。高校野球では、春、夏、秋でベスト8、ベスト4。中学校においては、野球中体連の全道大会で優勝。トランポリンでは谷地さんがインターハイ出場、湊谷姉弟も国スポ、ジュニア五輪に出場。英語のスピーチでは、庄司さんが日本一に輝いた。

また、チアリーディング、レスリングの活躍のほか、社会人では大阪の美容専門学校に在籍している翔雲高校出身の森さんが、技能五輪で日本一になり、令和8年度は国際大会に出場することとなり、士別出身の子どもたちの頑張りが目立った1年であった。

これから、中学校部活動の地域展開を含めて、我々大人たちが子どもたちの教育環境を守っていきながら、子どもが小さな街でも健やかに育つ環境づくりを進めていきたいと思うので、引き続きそれぞれの立場でご意見いただく中で、教育行政を推進していきたいと思うので、よろしく願います。

### 3 協議事項

#### ○丸部長（進行）

(1) 朝日地区義務教育学校の校名について、説明する。

#### ○岡田課長

朝日地区義務教育学校については、地域の方の強い要望から糸魚小学校の校舎を利用した「義務教育学校」とすることで協議を進めてきた。

令和9年4月開校に向けて準備委員会を設けて準備を進めており、新たな義務教育学校の校名については、学校経営部会のメンバーのほか4名の方で選考委員会を組織し、協議を進めてきた。

朝日地区にお住まいの方、朝日地区にゆかりのある方に対して募集を行い、11件の応募の中から選考委員会において4件に絞り、糸魚小学校、朝日中学校の児童生徒にアンケートを行ったところ、学校の名称は、一番多い意見である「あさひ未来学園」とした。

今後のスケジュールは、この総合教育会議で決定した後、第一回定例会に学校設置条例の改正案を提案し、予算関連議案であるため最終日3月13日に承認をいただき、ホームページなどで周知を図っていきたいと考えている。4月以降には、義務教育学校の校歌、それから校章、校旗の作成を進めていく考えで、校舎改修工事についても冬休みごろまでの工事期間で準備を進めていく考えである。

#### ○丸部長

ただいま説明しました、義務教育学校の校名について、委員からご意見はあるか。

(各委員から、いい名前であるとの声あり)

それでは校名については「あさひ未来学園」で進めさせていただくことでよろしいか。

(異議なしの声)

#### ○丸部長

(2) 令和8年度の教育関係施策と予算について、説明する。

教育関係施策については、要求ベースであるが、1月14日の教育委員会会議で担当課長から説明しているため、この場では割愛させていただく。なお、令和8年度の当初予算については、2月10日に全員協議会を経て、記者発表を予定しているため、よろしく願います。

#### ○丸部長

(3) 公共施設の最適化について、説明する。

資料は、現時点の市の考え方で、公共施設最適化の方針をまとめたもの。

まず、統合を予定する施設の1番目、市民文化センター大ホールとあさひサンライズホールでは、文化センター大ホールが未耐震であることや、設備の老朽化のほか、利用実績が限定的であることから、あさひサンライズホールに当初の提案どおり令和12年3月までの5年以内に統合を目指す考え。

2番目の日向スキー場、あさひスキー場については、あさひスキー場の耐用年数が超えており、老朽化によって利用者の安全性の確保が難しい状況にある。今年3月で廃止の提案をしており、利用団体を中心に協議を重ね、市の方針としては変わらないものの、代替案で継続協議としている。今後も丁寧な説明に努めながら理解が深まるように協議を進める。

3番目の南郷プール、朝日プールは、朝日プールの老朽化が著しいため廃止の提案をしている。これまで利用者と協議を行い、今年の夏の営業終了をもって廃止し、令和9年度から南郷プールへ統合していく考え。なお、朝日プールは地元の子供たちを中心としたイベントを開催し、8年度シーズン終了後、8年度中にプールの解体を予定している。

次に、廃止・休止を予定する施設の1番目、天塩川パークゴルフ場については、パークゴルフ人口が減少傾向にある中で、複数のパークゴルフ場を維持していくのは困難であり、利用団体から要望を受けながら協議を進めており、その他のパークゴルフ場の利便性を向上させることを提案し、9年3月までに廃止という方針で進める考え。

2番目のつくもスケート場、3番目のつくもカーリング場、4番目の朝日公民館の壬子・三栄・登和里の3分館については、利用者、地域の方と当初の提案を基に引き続き協議を進める。

6番目の天塩川テニスコートは、利用者が非常に少ないことから、当初の提案どおり、令和8年3月をもって休止と考えている。

以上、教育関係施策と予算について、公共施設の関係について説明したが、委員から質問、意見はあるか。

#### ○馬場代理

廃止・休止を予定する施設の天塩川テニスコートだけが休止になっているが、廃止と休止とはどのように違ってくるのか。

#### ○丸部長

天塩川テニスコートについては休止としているが、天塩川テニスコートのフェンスが国の交付金を活用して作ったものであり、用途廃止がまだできない状況で、その期間を経てから廃止するという考えで、手続き上、休止としている。

○加藤委員

あさひスキー場は、利用団体と継続協議中という状態だが、もう耐用年数が過ぎていて、統合という方向性は変わらないと思うがいかがか。

○丸部長

リフト運行についての市の考えは、これまで説明してきたとおり、安全安心の観点から存続はしない方針で、このような表現としている。代替案については、日向スキー場の利活用を基本として話をしているが、関係団体の皆様とは、あらゆる可能性を含めて協議をしているところ。

○加藤委員

スケート場、カーリング場、公民館分館が継続協議となっているが、9年3月に廃止としているのはどういうことか。

○渡辺市長

公民館分館としての機能と、自治会館のようなコミュニティ施設の2つの役割があって、分館として公民館の事業としては朝日公民館に統合し、コミュニティ施設としては、今後どのような形にしていくか継続協議としている。

○山田委員

継続協議としているのは、市として教育委員会として丁寧にこれから進めていくっていう事があるの継続であり、しっかりその辺を踏まえた上で協議しているということ。間違いなく使用されている地区の皆さんや、そういう方々の気持ちを最大限考慮した中での意味合いだと思う。結構この辺はナイーブなものかと捉えているし、そういう風にしていただかないと地域住民の方々は厳しいものがあると思う。

○加藤委員

スケート場も利用団体と継続協議としているが、スケートの利用団体とはどこになるのか。

○丸部長

スケートは協会の様な利用団体はない。この施設を維持管理している、スポーツ協会と協議をさせていただいている。先ほどお話があった、カーリング場は協会とそれぞれ意見を出し合いながら継続協議をしている。公民館分館については、全員協議会でも同じご質問もあったが、公民館機能と地域コミュニティ機能をサービスの内容で切り分けた系統は必要であろうということで考えている。また、実態としては、コミュニティ機能の部分で利用されていることが多いが、一方で利用しているのは高齢者が多く、管理する上でも不安があるということも聞いている。そういった部分も含めて、9年3月をもって分館は廃止するが、この部分も含めて地域の皆さんと協議を継続していく考えである。

○丸部長

その他、ご意見などはあるか。

(意見なし)

#### 4 その他

##### ○丸部長

次に、その他ということで、委員から何かあるか。

##### ○加藤委員

市民文化センター大ホールを令和12年3月までに統合としているが、市長が掲げられている中に、総合体育館について検討しているという話があったと思う。帯広の「よつ葉アリーナ」のような複合施設の計画を考えることはあるのか。

##### ○渡辺市長

そういった選択肢もあるとは思っているが、いろいろな考えがあって、音響を考えた複合施設なんてありえないと言っている方もいれば、せっかく建てるなら500人が入れるものを作った方がいいという意見もある。今後のあり方を8年度中に方向性は示していきたいと思っている。

令和9年度をめどに市立病院の方向性も出さなければならない。これまで、現地で建替か、別な場所に建替か、それか大規模改修かという案がある。現地での建替が難しいとなったときに、街の中心部となると、例えば、総合体育館のあたりにというのも検討の余地がある。そうになると、病院との関連性も出てくるので、今の段階で示せるものはないが、8年度である程度の方向性というのは出していかなければならないと考えている。

庁内で協議を進めた上で、その後、市民の皆さんに意見を聞いたり、関係団体に聞いたりという場を設けるという順序で考えている。

##### ○加藤委員

先ほどの音響の問題は思ったが、いろいろな意見全てをくみ上げていく建物は、難しいのではないかと思う。これからの市のあり方を思った中でどういう風に考えていくかということなので、それも含めてご検討いただければと思っている。

もう一つ、先ほど教育委員会会議で士別市教育行政執行方針の話の中で、子供たちがAIを使う機会が高くなっているという話があった。私の娘がAIを使ったり、私も仕事で使うようになっている。海外では自殺が起きたり、いろいろな問題も起きているので、今後、AIに対する教育等を士別市としても、そういうテクノロジーについていくのも必要なかなと思う。今、ICT関係の内容とかネットリテラシーとかもあり、AIに対してもリテラシーがないと、うまく使用できないような時代になってくるのではないか。そのあたりを踏まえて、今後、施策を考えていただきたいと思っている。

##### ○多田委員

4月から、自転車のヘルメットを努力義務から義務化になるということで、中学校から保護者にヘルメット購入の斡旋がきている。ヘルメットは必要なものなので、保護者の皆さんも購入を考えないといけないと思うが、高価なものなので、予算として市で検討していただけたらと思っている。

○渡辺市長

新たに追加になったので、保護者の皆さんの負担にはなると思う。例えば、子どもが乗って  
る自転車を行政で買うのかと言ったら、保護者が買うわけなので、本当は自転車とセットなん  
だよという扱いを理解してもらえればいいと思う。今後どのような対応をするのか、まだ協議  
を進めていないが、一定程度の保護者のご理解はいただかなければいけない部分と思ってい  
る。

○多田委員

きっとそういう考えにもなってくるのではと思うが、今年の4月からということで、物価が  
高騰している中、驚いている保護者の方もいるのではないかなと思う。せっかくの機会なの  
で、市長に検討していただければらなとお話をさせていただいた。

○加藤委員

道路交通法を改正することは理解できるが、地方と都会は実態が異なる部分もあると思  
うが。

○渡辺市長

例えば教育委員会関連では、高校の無償化、部活動の地域展開など、国が方向性を示して、  
地方に降ろしてきて、皆さん考えてという状況になっているが、スタートの段階から格差がつ  
いてしまうという制度は、加藤委員おっしゃるとおり、都市部と過疎地ではスタートの段階か  
ら違うというものがたくさんあって、ちょうど北海道市長会で各自治体から国に対する要望を  
上程する予定となっている。

○馬場代理

東校の移転について、早くても11年4月とのことであるが、移転を一年前倒しとか、もう  
少し早くというわけにはいかないのか。

○泉山教育長

東校の校長とも話しをしたが、やはり最短で11年4月とのことだった。地域の説明会を2  
回行っており、その中でも早くという前向きな意見もいただいたりした。ただ、入学の募集要  
項に何年から移転するということを入れていないと、その時になって移転するとなれば、学校  
としては無責任であると思う。そのほか教育課程の編成や、学習指導要領の移行などを考える  
と、高校は学年ごとに移行するため、やはり11年4月がベストではないかと思う。

○丸部長

様々なご意見いただいたので、参考させていただきたい  
以上で、令和7年度第2回士別市総合教育会議を終了する。

**【 会 議 終 了 】**